

たまきゅう便り

発行

多摩丘陵病院

広報委員会

町田市下小山田町

1491

年頭のご挨拶

多摩丘陵病院 院長 島津元秀

新年明けましておめでとうございます。皆様にとつて今年が素晴らしい年になりま
すようお祈り致します。

年頭に当たり、皆様はこの一年間どのような希望や展望を立てておられるでしょうか？
私自身は昨年末、少し体調を崩し不本意でしたので、今年は健康に留意し、戌年に因ん
で元気に駆け回って働き、かつ余暇を十分エンジョイできるような体力、気力を保ちた
いと思っています。

当院としては、昨年、地域連携室の増員・機能強化を図り、国策として進められてい
る地域包括ケアシステムの一翼を担って、地域における医療・介護・予防・健康増
進に貢献すべく努めて参りました。しかしながら、達成できなかった目標もあり、反省
すべき問題点も見られ、必ずしも満足はいく成果が得られていない部分もあります。こ
れは来年に向けてどう改善すべきかの教訓・糧として考えたいと思います。

医療職は他の職種とは異なる聖職であり、国民の福祉と健康を担っています。日本で
は赤ひげ文化があり、欧米諸国の医療に比べると、驚くほどの過重労働と低賃金で世界
に冠たる国民皆保険制度を支えてきました。しかし、最近では仕事のきつい診療科は敬
遠され、勤務医が病院から減っている「立ち去り方サボタージュ」の傾向が出てしまし
た。一方でグローバル化に伴い、欧米の市場原理型の医療の波も押し寄せており、混合
診療、ドクターフィーなどを含め医療制度・保険制度の在り方が問われています。私達
はこのような困難な状況の中で仕事をしている訳ですから、それ相当の自覚とモチベー
ションがなければ勤まらないと思います。

医療は人間を相手にする仕事です。医学は科学の一分野ですが純粋科学とは異なりま
す。人間は複雑すぎるから、医学では数学や物理のように常に一つの答えが出るわけ
はありません。ところで昨年のノーベル経済学賞を受賞した方をどう存じでしょうか？

リチャード・セイラーというアメリカの経済学者です。彼の研
究テーマは「行動経済学」というもので、人間は高度に合理的に
行動するという従来の経済学の学説に疑問を投げかけたものです。
人間は認知能力の限界や自利心の欠如があり、時として心の欲す
るままに合理的でない行動をします。そうした人間の特性が個人
の意思決定や市場動向に大きな影響を及ぼすことを示したもので
す。

医学も似たような側面を持っています。同じ病気の同じステ
ージの癌で同じ治療をしたのに治る人、治らない人がいます。どう
いう違いがあるかまだはつきり分かっておらず、合理的な説明が
できません。ゲノムの解析で解決しようとする試みも進んでいま
すが、人間はそんなに簡単にはいかないと思います。私達には見
えないスピリチュアルなものが関係しているかもしれません。セ
イラー教授は日本の詩人・書道家である「相田みつを」の「人間
だもの」という詩が好きだと語っています。そういう意味で医療
では治療の結果も大事ですが、それ以上に患者さんへの対応、人
間関係、治療経過とその説明が極めて重要なわけでありませ
す。素晴らしい絵画や音楽が感動を与えるように、患者さんの心に響く
ような、そんな医療を実践したいものです。

さて今年、当院では幾つかの新しいプロジェクトが実行に移さ
れます。一つは電子カルテの導入です。その準備に当たって、院
内調整、対外折衝などシステム委員会のメンバーには多大な時間
と労力をおかけしました。もう一つは南棟一階の駐車場部分を病
院施設として増・改築するものです。現段階では、通所リハビリ
センター、病歴管理室、カルテ等資料保管庫、地域連携室、訪問
診療室、会議室・ラウンジとして使う多目的室、更衣室などの設
置が決まっています。また、医療界でのAI化の動向も見据えて、
各種ロボットの導入も予定しています。これらのプロジェクトに
よって医療の質向上や効率化が進み、患者さんの利便性、満足度
が増すことを期待しています。

新年に当たり初心を忘れず、「生きる力を支え合い、ぬくもり
のある医療と看護を提供します」という本院の理念に基づいて、
地域に密着した病院として住民の方々に信頼されるよう職員一丸
となって頑張りたいと思いますので、関係各位の益々のご支援、
ご協力をお願い申し上げます。

自衛消防隊が表彰を受けました



秋の火災予防運動期間に際し当院の自衛消防隊が日頃の火災予防についての活動が評価され東京消防庁予防部長より表彰を受けました。

町田消防署 水野署長が来院され、島津院長に表彰状を手渡されました。大変名誉なことで自衛消防隊の隊長として身の引き締まる思いであります。これからも、患者様や職員の安全・安心のため活動していく所存でございますので応援の程よろしく願いいたします。

多摩丘陵病院 自衛消防隊長
内藤 允信



町田消防署水野署長より島津院長が
表彰状を受け取りました。

防火管理者（健康管理科 萩原）の感謝状も
自衛消防隊表彰状と同時に受け取りました。

第3回健康講座 開催



平成29年12月1日（金）当院3階リハビリテーションセンターにおいて、『第3回健康講座』を開催しました。

今回は『がん治療の歴史と最新治療』をテーマとし、当院の外科部長である櫻川忠之が講演を行ないました。

講座には各方面から多数の方にご参加頂き、ご参加頂いた方からは

「治療の歴史を知る機会は少なく、大変興味があるテーマでした」
 「初めて聞く話が多かったので、とても興味深く聞くことが出来ました」
 「大変分かりやすく、聞きやすかった。勉強になりました」
 「麻酔のある時代に生まれてきて良かった」

等の声があり、盛況のうちに終了致しました。

第1回地域交流まつり開催



地域の皆さまの支えによって、今年設立35周年を迎えられた感謝を込め『地域交流まつり』を11月11日（土）の午後に開催させて頂きました。当日は天候に恵まれ絶好の祭日和になりました。

開会宣言後に職員有志名演奏（中島みゆきさんの地上の星）のもと、500個近い風船を空に放つ華々しいスタートを皮切りに、桜美林大学の学生さんによる活気ある元気なエイサー、上根・白山神社のお囃子グループによる和楽器（笛・和太鼓等）演奏の下での勇壮な獅子舞・ひょっこりご踊り、100曲は超えるレパートリーを操る職員有志による演奏で盛り上がりました。

その他、町田消防署（忠生出張所）のご協力による消防車展示・消防服の着用、地元のプラナスとスワンカフェ&ベーカリーとめぐもりの園のご協力による調理パンやコーヒーなどの販売も大好評で売り切れ続出でした。

各ブースでは、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくい、食事相談（食事サンプル配布等）、インフルエンザ対策（手洗い・うがい・マスクの付け方等）、簡易健康診断（身長・体重・血圧測定、健康体操・保健師アドバイス等）、とろみ調整食品の使い方、松葉杖・車いす介助体験等、病院ならではの催しに訪れた方々も喜ばれていました。

当日は交通が不便なところにもかかわらず職員・入院患者さんも含めて100名は超える参加者をお迎えすることができました。主催者一同感謝申し上げます。来年以降も広報委員会が中心となってより良い祭を開催したいと考えていますので、ご期待下さい。